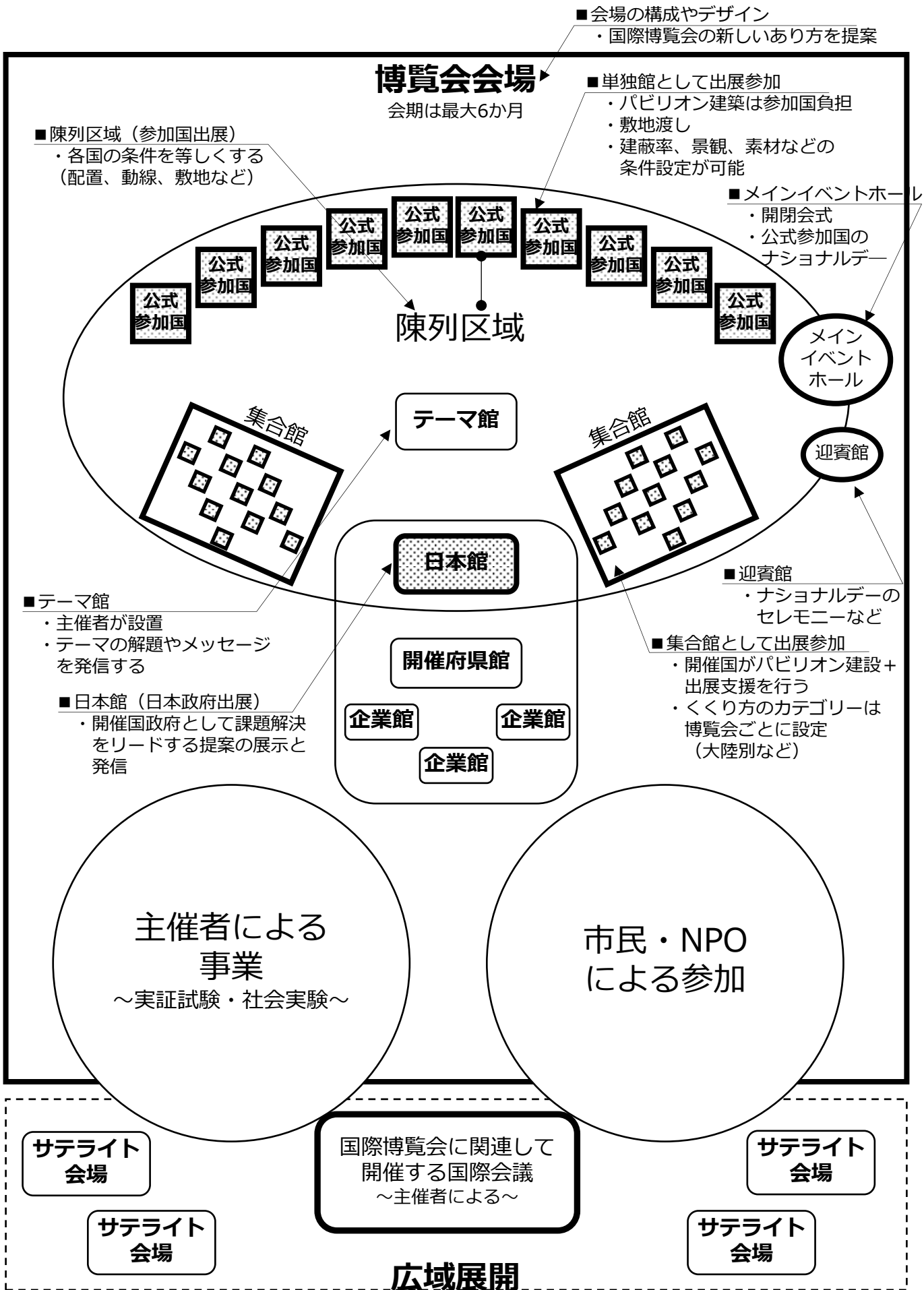


国際博覧会の主要な施設・事業の構成について



主要な施設・事業の構成の事例

	愛知万博	上海万博	ミラノ万博
テーマ館	<p>「グローバルハウス」</p> <ul style="list-style-type: none"> コンセプトは「過去、現在、未来における地球と人類のあり方」 冷凍マンモス 世界中から貴重な展示品 最新映像技術を駆使したシアター 	<p>「都市人館」</p> <p>人が求める都市の機能を確認しそれを満たす都市の姿を探る</p> <p>「都市生命館」</p> <p>都市を生命体として見て、人類と都市のありかたを探る</p> <p>「都市プラネット館」</p> <p>地球的な視点から都市を知る</p> <p>「都市文明館」</p> <p>芸術と都市の関係を展示紹介</p> <p>「都市未来館」</p> <p>夢を実現する都市の未来を展示</p>	<p>「PAVILION ZORO」</p> <ul style="list-style-type: none"> *公式参加国館に番号設定 食糧生産と消費の歴史をたどり来場者が「食」の問題を考えるオリエンテーションパビリオン 国連食糧計画による「ZERO HUNGER CHALLENGE」と連携
主催国館	<p>「長久手日本館」</p> <p>日本の経験、“20世紀の豊かさから21世紀の豊かさへ”</p> <p>「瀬戸日本館」</p> <p>自然と生きる日本人の知恵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技・こころ～自然とつながる感性を取り戻そう <p>*共通コンセプト</p> <p>「つなぎ直そう。人と自然」</p>	<p>「中国国家館」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 「都市発展における中華の知恵」 ・改革開放後30年の中国の都市化の過程と成果を振り返り ・中国の都市開発のコンセプトと低炭素社会への展望を発信 ・国宝級名画「清明上河図」のCGによる中国の古代都市の知恵 	<p>「Palazzo Italia（イタリア宮殿）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「農場のイタリア」 若者を育成することにより持続可能な世界の実現を目指す ・南北大通りの北端に設置 <p>*南北大通りにイタリアの各州や業界団体が出展</p>
先進的な提案事業	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池自動車、自動運転バス ・EXPOエコマナー ・森の自然学校(環境教育) ・自然エネルギー（太陽光） ・新エネルギー（生ごみによる発電など） ・垂直緑化、ドライミストなど ・ロボット 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベストシティ実践区模範的都市革新的な環境技術をによる模範都市を設置 ・世界最大の電気自動車充電ステーションを設置 ・主に中国人民を対象に、携帯電話を通じた世界のマナー教育を実践していた 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオダイバシティパーク（生物多様性の展示とオーガニックマーケット） ・未来のスーパーマーケット
市民・NPO参加	<p>「市民パビリオン&海上広場」（瀬戸会場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト：あなたの地球の愛し方見つけてください <p>「地球市民村」（長久手会場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万博史上初めて世界のNPOが集う 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加は会場外で分散展開 *ボランティアはあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・スローフード協会出展 ・世界農学者協会出展など
会場構成	<ul style="list-style-type: none"> ・長久手会場(公式参加国など)と瀬戸会場(市民参加など)の2会場構成 *約2km離れた2会場をゴンドラリフトなどで連絡 <p><長久手会場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/3が森や林、池 ・高低差30m以上の丘陵地 ・グローバルループ(主動線)と6つのコモン(公式参加陳列区域)による会場構成 ・自然環境保護を徹底した会場建設 ・既存の公園を活用し、博覧会後は公園に戻した 	<ul style="list-style-type: none"> ・浦東エリア(公式参加国)と浦西エリア(テーマ館、企業館など)の2エリアを黄浦江(川)を挟んで構成し、2つの大橋で接続 ・博覧会後に残す一軸四館(世博軸、文化センター、中国館、テーマ館、世博センター)を計画し、博覧会後の都市計画の骨格を形成 ・世博軸：浦東エリアBゾーン主動線 全長1km×幅110m 	<ul style="list-style-type: none"> ・主動線の東西大通り(直線1.5km)に面して公式参加陳列区域を設置 ・単独館が主動線に面する敷地間口を統一 ・集合館をコーヒー、チョコレートなどの農産物で分類